

平成24年度

第2回 石狩川上流河道管理ワーキング

日程 :平成 25 年 3 月 21 日(木)

時間 :13:30～ 15:30

場所 :一般財団法人 北海道河川財団

●出席者

氏名	所属等
泉 典洋	北海道大学大学院工学研究院 教授
伊藤 丹	寒地土木研究所 寒地河川チーム 上席研究員
黒木 幹男	(財)河川環境管理財団 研究顧問
清水 康行	北海道大学大学院工学研究院 教授
妹尾 優二	流域生態研究所 所長
渡邊 康玄	北見工業大学社会環境工学科 教授

※委員五十音順、敬称略

●議題

1. 河床低下対策工の検討状況 13:30～15:30
2. 大型模型実験について (2.0時間)
3. 全道河床低下河川
～岩盤床上の土砂移動と岩盤侵食～
4. 今後のスケジュール

●ワーキングの様子



大東課長挨拶



意見交換の様子

●主なご意見等

✓ 対策検討に対して

石狩川 KP157-KP166 の河床低下を抑制するためには、低水路拡幅と岩盤被覆による対策が効果的であると考えられ、シミュレーションでも効果が確認できている。しかしながら、砂州の動きや流量の少ない場合の状況など計算では十分に表現できていない点については、大型模型実験で確認し、適切に対策工実施反映していくことが重要である。

✓ 対策効果指標について

対策効果として、最深河床高の変化や岩盤露出面積に着目することは良いが、それらに加えて、高水敷と河床高の差（比高）に着目することも重要である。比高が大きくなると、流水が滯筋に集中し、より掃流力が大きくなり河床低下が進行しやすくなる。そのため対策工設置後は、比高を小さくすることも効果として確認するべきである。

【お問い合わせ先】

石狩川上流 河道管理ワーキング事務局

北海道開発局 旭川開発建設部 治水課

〒078-8513 旭川市宮前通東 4155 番 31

TEL 0166-32-4245、FAX 0166-32-2927